



あんしん道あいち 第26号

一般社団法人 愛知県道路標識・標示業協会

<http://www.ansinmichiaichi.jp>

TEL(052) 241-4515/FAX(052) 252-8156/E-mail [zen-ai@syd.odn.ne.jp]



子どもたちを車両の侵入から守るために
交差点の歩道部に設置された「歩行者保護ポラード」

目次

- 📄 ごあいさつ (1)
- 📄 <令和3年度 子どもを守ろうプロジェクト>
歩行者保護ポラード・防犯紙芝居の寄贈 (2)
- 📄 非常災害時保安機材供出ネットワーク (4)
- 📄 交通安全啓蒙活動 (5)
- 📄 標識部会 / 技術情報 (6)
- 📄 標示部会 / 技術情報 (7)
- 📄 安全施設部会 / 技術情報 (8)
- 📄 防護柵・高欄・フェンス部会 / 技術情報 (9)
- 📄 令和4年度 定時総会開催報告 (10)
- 📄 令和4年度 事業計画 (11)
- 📄 会員名簿 (12)

ごあいさつ

一般社団法人 愛知県道路標識・標示業協会
会長 加藤 淳一

平素は当協会にご指導、ご鞭撻を賜り心より御礼申し上げます。

「安全安心道あいち」 を目指して提案をします

昨年の愛知県の交通情勢は、交通事故死者数が117人と前年に対比して37人マイナスとなり、平成28年から6年連続の減少となりました。第11次愛知県交通安全基本計画には、「令和7年までに24時間以内の交通事故死者の目標を125人以下にする。」とあり、1年目にして目標が達成されました。また、重傷者数においては657人と前年に対比して93人マイナスとなり、目標の600人以下には未達成ですが、大幅な減少となりました。

今年度も専門工事業者団体として、専門技術研修会や広報活動により、特に子どもたちや高齢者の安全安心な道路交通の実現に向けて活動してまいります。

またインフラ老朽化対策について、あいち社会資本整備2025にありますように「あいちを守る」取り組みとして、引き続き交通安全施設の調査活動を実施し、老朽化した施設の更新の促進に努めてまいります。

子どもを守ろうプロジェクト

交通事故・犯罪・災害から子どもを守ろうプロジェクトは全国各地で展開されております。通学路やスクールゾーンにおける安全対策に寄与し、子どもたちの命を守ってまいります。

歩行者の安全対策として、「登下校防犯プラン」において、通学路の危険箇所「子どもを守る標識」を設置する協力を

するなど、防犯の一助となるよう活動してまいります。

関係機関団体との連携及び協力

「愛知県交通安全推進協議会」「愛知県高速道路交通安全協議会」の主催する交通安全運動への積極的な参加をし、交通安全啓蒙に努めます。

「児童生徒等見守りネットワーク」において、愛知県教育委員会、愛知県警と連携をし、連れ去り等の犯罪防止に協力いたします。また、「愛知県防犯協会連合会」及び「中区防犯連合協議会」への事業協力をいたします。

魅力ある業界づくりで 担い手の確保に取り組みます

建設産業における担い手確保は大きな問題となっておりますが、次世代研修会・懇親会を実施し、新しい技術や技能を研鑽し、会員のスキルアップと業界の魅力を継承してまいります。

また、路面標示施工技能士、登録標識・路面標示基幹技能者、道路標識点検診断士などの資格制度を今年も推進し、建設キャリアアップシステムの普及を含め「あいち土木の魅力・未来プロジェクト」への参画や「愛知県政150周年事業」への協力など、魅力ある業界づくりを推進し人材育成を勧めてまいりたいと存じます。



本年も会員が一致団結して取り組み社会に貢献してまいりたいと存じますのでどうかよろしくお願い申し上げます。

令和3年度「子どもを守ろうプロジェクト」歩行者保護ポラード寄贈

子どもを守ろうプロジェクト委員長 本多 徹

愛知県西尾市平坂 および 矢田地区通学路安全対策

歩行者保護ポラード寄贈の要旨

令和元年6月に起きた滋賀県大津市の右折車と直進車の事故に巻き込まれ保育園児16人が死傷した事故、また、令和3年6月に千葉県八街市の飲酒運転のトラックによる小学生5人を巻き込んだ事故等が相次いで発生しており、罪もない子どもたちの命が危険にさらされています。

我々は交差点の歩道部に着目しそこで待機する児童を車両の侵入から守るために歩行者保護ポラードの提案を行いました。

国の対応

前項の事故を受け、国として“未就学児を中心に子どもが日常的に集団で移動する経路の安全確保”、“未就学児を中心に子どもが日常的に移動する経路の緊急安全点検”などの方針が関係閣僚会議にて決定した、また、対策として防護柵、ポラード、カラー舗装、標識、標示の整備などが提案された、そこでポラードについても耐衝撃性を有する製品の活用(支柱1本で衝突に抵抗できるもの)などの歩行者対策案が出された。

歩行者保護用ポラードの設置について

今回設置した歩行者保護用ポラードについては、衝突速度45km/h(普通乗用車クラス)の衝突荷重91.4kJ(キロジュール)の衝突実験を行い、強度が確認されたものを交差点4か所に設置しました。施工は防護柵の支柱打込み機で行いました。表面は保護用の弾性ゴムでできているため自転車等の衝突でも衝撃は吸収されるようになっています。完成後の本体も景観に配慮した景観色で仕上げてあります。これですべて解決ではありませんが、交差点で待機する児童においては運転を誤った車両から保護が可能になったと思います。



今回設置した「歩行者保護用ポラード」

贈呈式とまとめ

令和3年11月4日に西尾市役所において贈呈式を執り行いました。

贈呈をしました西尾市長・中村健様からは、設置した地域は西尾市では新興住宅街で若い家族が多く小学児童も多いので大変効果的だとの感謝の言葉を頂戴しました。

最後になりますがこれですべてが解決するわけではありませんが国の基準、方針に沿った製品また工法を提案し今回のようなボランティアなどで検証を行い一人でも多くの交通弱者のかけがえのない命を守ることを目標に協会員全員で技術を研鑽してまいります。



贈呈式の様子

令和3年度「子どもを守ろうプロジェクト」防犯紙芝居寄贈

子どもを守ろうプロジェクト委員長 本多 徹

名古屋市旭出保育園にて贈呈式

防犯紙芝居の寄贈について

過年、子どもを守ろうプロジェクトにおいては防犯少年団 KONOHAキッズおよび登下校防犯プランに関するボランティア活動を進めてまいりましたが、コロナ禍ということもあり集会等の密を避けるため愛知県警本部生活安全部様から“防犯紙芝居の配布”に協力できないかと打診があり理事会で検討の結果、少しでも子どもを連れ去りから守るためこの企画に全面協力をすることを全会一致で決定しました。

名古屋市の各区にある保育園等に配布するため16セットにて予算を計上いたしました。

贈呈式について

令和3年12月20日名古屋市緑区旭出保育園にて防犯紙芝居の贈呈式が執り行われました。

参加者は、愛知県警本部生活安全部より柏警部、北浦警部補、協会より加藤会長、長坂副会長、大里理事、本多理事の最小限の参加者で行われました。

贈呈式では、保育園児に防犯紙芝居の披露があり、緑警察署生活安全課係の方による実演で保育園児に指導をしていました。不審者役の警察官が言葉巧みに子供たちをだます場面がありましたが、前もって子どもたちには「くれぐれも騙されないように」と指導したにもかかわらず、まんまと園児がだまされるシーンがあり、演技ということもあり、少し笑いを誘う場面もありましたが、演技でなければ大変でした。



贈呈式の様子



保育園児たちに防犯紙芝居を披露



警察官による紙芝居の実演



不審者役の警察官と園児



感謝状をいただきました

最後に

減少傾向にはあるもののまだまだコロナ禍が解消されたわけではありませんが、今年度も防犯、交通安全についてボランティア活動を進めていく事を今期の事業活動に盛り込みました。愛知県警本部様と協力をして一人でも多くの子どもたちを交通事故、犯罪、災害から守れるようなボランティアを提案し愛知県協会員全員で遂行していきたいと思ひます。

非常災害時保安機材供出ネットワーク

非常災害対策プロジェクト委員長 神農 信克

非常災害時保安機材供出ネットワーク地区別訓練報告

令和3年7月上旬から下旬に掛けて愛知県7地区で非常災害時保安機材供出訓練を自主(コロナ禍により県担当者は不参加)にて実施致しました。

本訓練は昨今頻繁におこる大地震やゲリラ豪雨などの災害が発生した際、当局より要請を受けて被災箇所の二次災害防止にあたる訓練です。

愛知県下11か所に備蓄している保安機材(セーフティコーン・ブルーシートなど)を災害現場に搬出し、協会隊員が立入禁止区域を速やかに設置します。

万が一の災害時に官民協働で被災地の救援にあたることができるよう、例年は、各建設事務所での防災・維持担当者様に巡視・ご指導を賜るのですが、今回は自主訓練として実施し、有事に於けるそれぞれの役割について再認識しました。

非常災害時保安機材供出訓練(自主訓練)を全県下7箇所にて実施しました。

訓練風景



交通安全啓蒙活動

交通安全運動事業委員会 村田 肇

交通安全活動に対する愛標協の取り組み

全国交通安全運動について

交通安全県民運動は愛知県交通安全推進協議会(会長:大村秀章様)が開催する県民ぐるみの社会活動です。年に4回(春、夏、秋、年末)開催され、交通安全に対する意識付け又、啓蒙活動を行っております。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、交通安全県民運動の活動が中止、または規模を縮小しながらの活動となりました。

愛標協の会員もそれぞれの職域等で交通事故防止を目的に立哨活動等を行っています。



秋の交通安全運動について

秋の交通安全県民運動において、当協会は(1)各地の交通安全県民運動への参加(中村警察署、豊田警察署、津島警察署管内)、(2)啓発グッズの配布、(3)その他ボランティア団体主催の交通安全啓蒙運動運動への参加を行っておこなっていく予定でしたが、中村警察署管内、豊田警察署管内は交通事故防止キャンペーンが新型コロナウイルス感染の影響で中止となりました。津島警察署管内は規模を縮小して行われました。



その他交通安全事業委員会活動について

その他の活動については、愛知県と同じ時期に開催される、高速道路安全協議会主催の交通安全活動に参加しました。また公益財団法人交通遺児を励ます会を訪問し寄付活動を行っております。当協会としても交通安全運動委員会を中心にして協会員全員で少しでも交通事故を無くすべく活動を積極的に続けていきたいと思っています。



通学路の速度抑制標識等(ゾーン30プラス)活用事例

ゾーン30プラスの施工イメージ

これまでの警察による交通規制(ゾーン30)に「プラス」して、道路管理者による物理的デバイスの設置で生活道路を人優先の安全・安心な通行空間とする「ゾーン30プラス」が今注目をされています。

【注意喚起】

「ゾーン30プラス」の入口(イメージ)



↑《ゾーンプラス30》標識



《ゾーン30プラス》路面標示↑

速度を低減させる一例「スムーズ横断歩道」

スムーズ横断歩道とは、速度抑制効果の高いハンプと横断歩道を組み合わせて物理的デバイス設置で車の速度を30km/h以下に抑えることを目的にしています。

【速度を低減させる】



スムーズ横断歩道、注意喚起標識・標示・カラー標示、防護柵(ポラード等)で歩行者を守ります。

通学路の安全対策 横断歩道グリーン化のご提案



令和4年3月 西尾市



令和3年9月 東浦町

令和3年6月28日に千葉県八街市で発生した、八街児童5人死傷事故をはじめとする通学路での数々の悲惨な事故。これらの再発防止を目的に現在全国各地では多くの交通安全対策が進められています。

標示部会では、児童の安全な歩行エリアを確保するためのグリーンベルト設置を継続的にご提案してまいりました。この提案にプラスして、昨年度より**横断歩道のグリーン化**をご提案しております。これは横断歩道の白線の間をグリーンに塗装するもので、横断歩道の視認性向上とドライバーに対し通学路としての更なる啓発効果を狙ったものです。

愛知県に先立ち、山口県では県警察本部との協力のもと、小学校から半径500m以内の横断歩道を全てグリーン化する取り組みが既に始まっており話題となっております。当愛知県におきましても、令和3年度よりこの施策に取り組まれる自治体が増えてきております。

山口県での取り組み 令和3年度

児童たちの安全を確保しようと、山口県防府市は小学校周辺にある横断歩道のカラー化を進める。ドライバーから見えやすくするため、白線と白線の間を緑色にする。

対象は、市道で信号機がない横断歩道。今年度当初予算では、小学校の半径250メートルにある約70か所で行う計画だったが、6月に千葉県で児童5人が飲酒運転のトラックにはねられ死傷する事故が発生したことを受け、範囲を拡大。対象を半径500メートルの約160か所に広げ、消えかかったラインも塗り直す。事業費は当初予算と合わせて5000万円。作業は今月から始め、今年度内に終わる予定。



試験的に白線の間を緑に塗った横断歩道

交通安全施設の設置事例

安全施設部会の活動

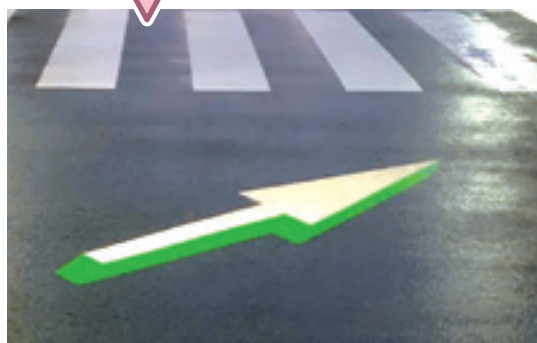
当委員会は、交通安全対策の提案ならびに調査研究、交通安全施設の保全ボランティアを通じて交通事故の抑制、会員各社の安全啓蒙を行うことを目的として日々活動しております。また賛助会員、メーカー各社からの新技術、新工法の日々の情報をお伝えしたいと思います。

令和3年度 技術研修会発表内容

- | | |
|----------------------|--|
| 1. 高輝度LED
投影型表示装置 | LEDプロジェクター活用により、路面上にマークやメッセージの投影 |
| 2. 逆走対策製品 | 逆走防止の逆走方向と順走方向で異なる表示、リバーシブル注意喚起板 |
| 3. 省スペース型
杭基礎 | 防護柵、道路反射鏡等へ対応した従来の杭基礎をコンパクトにした製品 |
| 4. 型押し式
アスファルト舗装 | 景観に優れたアスファルト型押し工法。既存のアスファルト舗装に施工
既存アスファルトを再加熱し、様々なパターンの型押しワイヤーを転圧
樹脂を吹付け塗装 |

設置事例

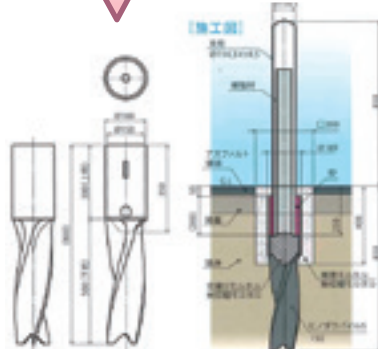
1. 高輝度LEDプロジェクター投影の設置例



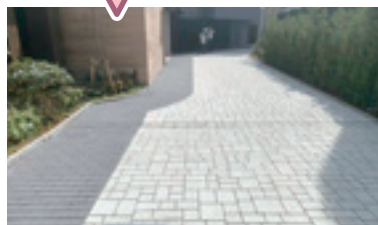
2. 逆走防止表示板の設置例



3. 省スペース型 杭基礎設置例



4. アスファルト型押し設置例



横断歩道などの開口部への安全対策

通学路・交差点での歩行者への安全対策の取り組み

近年、通学路や交差点での事故が相次いで発生しており、特に交差点内の横断歩道などの、開口部へ車両が進入する事故が懸念されています。

そこで開口部への車両進入を防ぐため、車止めの設置が各所で検討されております。



ボラードの設置便覧の策定

国土交通省の動向として、19年の交差点事故を受け、21年4月防護柵の設置基準・同解説の改訂にボラードの設置便覧が追加され発行されました。

- ① 通常ボラードは「N型ボラード」、耐衝撃ボラードは「H型ボラード」として定義づけされている。
- ② 車両衝突条件を新たに規定。
- ③ ボラード高さに新たに規定。

※ 交差点内の歩道部で待機する歩行者等の安全対策を行うボラードが対象。

ボラードの設置便覧

通常ボラード (N型ボラード) 強度：低
車両の進入を視覚的に抑止するボラード

耐衝撃性ボラード (H型ボラード)

種別	車高制限 (1)	衝突速度 (2)	衝突内径 (歩道に進入する角度) (3)
HC	1.8	35以上	15
HB	1.8	45以上	15

1. 既存防護柵(ガードレール)支柱と同等品
設計速度 50 km/h 以下
HC種 市道・県道 強度：中

2. 弱衝撃面を受け止めることが可能な複合構造
設計速度 60 km/h
HB種 国道・県道 強度：高

令和19年3月 (公発) 日本道路協会
「防護柵の設置基準・同解説(改訂版)」の5-7の設置便覧より引用



公益財団法人
日本道路協会発行
「防護柵の設置基準・同解説
ボラードの設置便覧」

横断歩道開口部への対策事例

横断歩道開口部への安全対策の実例報告をさせていただきます。

対策前



対策後



令和4年度(一社)愛知県道路標識・標示業協会定時総会開催報告

総務委員長 成田 聡

(一社)愛知県道路標識・標示業協会定時総会開催報告

＊交通安全施設の専門業者団体としての役割

令和4年5月11日、サイプレスガーデンホテルにて(一社)愛知県道路標識・標示業協会定時総会が開催されました。未だ新型コロナウイルス感染症が終息しておりませんので、昨年と同様に広い会場で参加者1人1人の間隔を広くとり、集会時に必要とされている感染対策も徹底した中で開催し、無事第1号議案から第4号議案まで承認可決されました。



令和4年度定時総会のようす

開会に先立ち加藤会長は当協会の役割として【①効果的な交通安全対策の研究とご提案、②老朽化した交通安全施設や危険箇所の調査点検、③防犯・減災のボランティア活動の推進、④会員各社のスキルアップと将来に担い手確保】を4つの重点施策とし、1件でも事故を減らし1人でも被害者や加害者を減らすことが当協会の使命である。会員の皆さまにもご理解とご協力をお願いしますと挨拶されました。



挨拶をする加藤会長

＊出席社数

本総会は会員総数46社のうち35社の出席(委任状11社)をもって成立いたしました。

＊議事内容

定時総会議題

- ・第1号 議案 令和3年度事業報告の承認を求める件
- ・第2号 議案 令和3年度収支決算報告の承認を求める件
- ・第3号 議案 令和4年度事業計画案の承認を求める件
- ・第4号 議案 令和4年度収支予算案の承認を求める件

＊ご来賓の方々より議案審議に先立ちご臨席を頂き、ご祝辞を賜りました

■ご来賓	…………… 愛知県警察本部	交通部交通規制課	課長 新谷 遼 様
■ご来賓	…………… 愛知県 建設局	道路維持課	課長 林 克行 様
■ご来賓	…………… 当協会顧問	愛知県議会議員	寺西 睦 様



愛知県警察本部 交通部交通規制課 課長 新谷 遼 様



愛知県建設局 道路維持課 課長 林 克行 様



愛知県議会議員 寺西 睦 様

(一社) 愛知県道路標識・標示業協会 令和4年度事業計画

総務委員長 成田 聡

令和4年度事業計画

昨年の愛知県の交通情勢は、交通事故死者数が117人と前年に対比して37人マイナスとなり、平成28年から6年連続の減少となりました。第11次愛知県交通安全計画に掲げる目標「2025年までに年間の24時間死者数を125人以下、重傷者数を600人以下とする。」とあり、1年目で死者数は目標を達成し、重傷者数は657人で前年に対して93人マイナスと大幅な減少となりました。令和4年度もさらに交通事故を削減できますよう、当協会といたしましても、交通安全施設の整備と安全対策の提案を通じ、交通事故防止の一助となるよう活動してまいります。昨年度は、「通学路交通安全の再点検及び安全対策の整備」が実施される1年となりました。この重要な施策につきましては本年度も引き続き、きめ細かいご提案をしていく所存です。

当協会は、この地方において予想される南海トラフ巨大地震や豪雨等に備え、本年度も「非常災害時保安機材供出ネットワーク」の体制を整え地域防災訓練を実施し、豊川市で開催される愛知県総合防災訓練にも参加いたします。

老朽化した交通安全施設の更新については、今年度も「老朽化した安全施設及び危険箇所の調査」を実施し当局の整備に協力いたします。また国土交通省において登録されました道路標識点検診断士の資格者による道路標識の点検を推進いたします。

交通事故・犯罪・災害から「子どもを守ろうプロジェクト」は全国各地で実施されるようになりました。本年も子どもたちの安全安心に寄与してまいります。

建設産業における担い手確保は大きな問題となっていますが、当協会においても登録標識・路面標示基幹技能者、路面標示施工技能士、道路標識点検診断士などの資格制度を今年も推進し、建設キャリアアップシステムの普及を含め、人材育成を進めてまいりたいと存じます。また、働き方改革の一環として、工事発注の平準化の推進に取り組めます。

* 社会に貢献する協会として展開する主な公益活動

1

交通安全の
推進に貢献

2

「子どもを守ろう
プロジェクト」の
事業継続実施

3

非常災害時の
体制整備

4

交通遺児への
寄付の実施

* 事業計画内容

1. 法令の順守

2. 専門事業者団体としての技術向上・調査・提案

3. 公益活動の実施

4. 本部・支部事業の実施協力

5. 研修会、講習会の開催

6. 関係機関団体との連携及び協力

7. 委託事業の適切な推進

8. 広報活動の積極的な展開

9. 安全管理の徹底

10. 福利厚生事業の推進

一般社団法人 愛知県道路標識・標示業協会

会員名簿

正 会 員	電 話 番 号
(株) アサヒカッター	(052)793-2043
アトムテクノス(株)名古屋営業所	(0586)24-5706
(株) イセヤス 建材	(0532)33-3303
(株) オカム ラ	(0567)65-6050
小 田 鐵 網 (株)	(052)351-5181
(株) キクテック	(052)611-0680
協 栄 産 業 (株)	(0567)65-2995
(株) 京 伸	(0565)33-2141
(株) 金 原	(0532)31-4969
(株) コウエイ	(052)822-5137
交通企画(株)名古屋営業所	(052)938-6320
サンダイ技建(株)	(0568)43-3221
信号器材(株)名古屋営業所	(052)832-2571
順 天 工 業 (株)	(0565)48-4851
スロップガード(株)	(0564)28-0661
(株)ダイエーディスプレイ	(052)411-3811
(有) ダイシン	(0532)26-0361
大 電 土 木 (株)	(0565)53-3883
中日保安設備(株)	(0587)95-1284
中 部 道 路 (株)	(052)772-6131
(株) 中部道路施設	(0586)51-6669
寺 部 安 全 施 設 (株)	(0563)65-2800
東 愛 工 業 (株)	(0565)53-2072
(株) 東 亜 製 作 所	(052)891-1711
東 亜 ラ イ ン (株)	(052)624-5071
東 京 戸 張 (株)	(0533)68-7151
東邦ステンレス工業(株)	(0562)33-1676
東 祐 工 業 (株)	(0565)27-6885
東 陽 工 業 (有)	(0565)26-9111
東 陽 テ ッ ク (株)	(052)651-4531
豊 田 (株)	(052)935-5561
西 尾 ラ イ ン (株)	(0563)54-3481

正 会 員	電 話 番 号
日 道 工 業 (株)	(052)265-7137
(株) 日本道路システム	(0564)26-3381
日本ライナー(株)中部支店	(0586)71-4155
阪神装路(株)名古屋支店	(0586)77-1084
富国合成塗料(株)豊橋営業所	(0532)31-6230
藤 安 全 施 設 (株)	(0567)95-8038
(株) マイ・ロード	(052)805-1131
(株) 前 山	(052)841-9250
(株) みどり安全社	(0564)48-2888
美 松 工 業 (株)	(0569)29-2751
名 東 電 気 工 事 (株)	(052)763-2141
名 阪 興 業 (株)	(0566)82-8818
(株)メタルテクノ神戸	(0532)31-6700
森 工 業 (有)	(0565)44-0255

賛 助 会 員	電 話 番 号
(株)アークノハラ名古屋営業所	(052)218-5238
(株)吾妻商会名古屋支店	(052)745-7407
グ リ ッ ク ス (株)	(0532)52-4577
(株)興和工業所土木建材部	(0569)29-3041
三 永 商 事 (株)	(052)232-5800
サ ン コ ー 企 画 (株)	(076)289-6708
(株)三陽商会中部支店	(0567)57-0160
篠 田 (株)	(058)214-3497
(株)篠田商会名古屋支店	(0568)34-0215
JFE建材(株)名古屋支店	(052)204-5707
スリーエムジャパン(株)名古屋支店	(052)220-7257
積水樹脂(株)中部支店	(052)961-1571
セフテック(株)名古屋支店	(052)902-2711
日鉄神鋼建材(株)名古屋支店	(052)526-9250
日本地工(株)名古屋営業所	(052)899-4111
不 動 フ ェ ン ス 工 業 (株)	(052)852-9970



■お問合せ先

〒460-0011 名古屋市中区大須四丁目13番46号
ウイストリアビル5階

TEL (052) 241-4515

FAX (052) 252-8156

E-mail zen-ai@syd.odn.ne.jp

<http://www.ansinmichiaichi.jp>